

東アジア4カ国(日本、中国、韓国、ベトナム)の保険共同研究における拠点形成の推進

- 目的: ①保険研究の国ごとの独立性が崩れる中で、同分野の日本の学術競争力の優位性を生かし、アジアにおける保険・リスク研究を主導すること。
そして、その研究成果が日本に集積する仕組みを作り、アジア枢要の保険・リスクマネジメントの研究拠点となる。
②4大学で共有した課題感をそのまま共通テーマとして本格的な共同研究を実施、水準の高い国際比較研究を実現。
③共同研究の成果を、国公立大学で唯一の「リスク専攻」博士後期課程を有する大学院の教育に還元し、国際感覚に優れた学生を育成。

